

(様式2)

4 学校教育計画

項目		目標・方針及び計画	
1	学習活動	目標	①日々の授業を通して、知性を高め、豊かな創造力を養う。 ②「わかる授業」「できる授業」、そして「個人差に応じた授業」を工夫して行い、基礎学力の充実を図る。 ③大学等へ進学できる学力と、進学・就職後も学んで行ける「学び方」をしっかりと身につけさせる。 ④予習・復習に毎日取り組むなど、家庭や生徒寮での学習習慣を確立させる。
	重点1③ 重点1⑤	計画	①單元ごとの確認テストなどにより、意欲を高め、基礎学力の定着を図る。 ②朝学習を通じて漢字、英単語、計算力等の基礎学力を養う。 ③ 家庭学習の時間を確保させ、まじめに課題や学習に取り組ませる。また、課題は提出状況だけでなく、内容にも注意を払う。 ④少人数授業、習熟度別授業、個別指導の効果的な方法を工夫する。 ⑤ 互見授業や研修会などを通して、教師の指導力の向上を図り、わかる授業を行う。
2	学校生活	目標	①家庭や地域との連携を深め、基本的な生活習慣の定着を図る。 ②夢や将来像を持ち、目標に向かって努力する生徒を育てる。 ③現代の高校生や若者などの気質をつかみ、生徒理解に努める。 ④家庭と連携しながら、心身ともに健康で意欲的に学ぶ生徒を育成する。 ⑤学習環境の整備、および校舎内外の美化に努める。
	重点2③ 重点2⑥	計画	①挨拶をする大切さを十分に理解させ、儀礼的でない元気な挨拶を身につけさせる。 ②交通ルールや校則を守らせ、安全な生活習慣を身につけさせる。 ③ 全教職員の共通理解を図りながら、悩みを持った生徒に迅速な対応をするとともに他人を思いやる心を育てる。 ④定期健康診断などの結果を活用して、治療などの適切な対処を促す。 ⑤生徒厚生委員会の活動や保健だよりを通して、健康保持や疾病予防に対する自己管理能力を高めさせる。 ⑥ 学校や家庭、地域での様々な経験を通して、自己肯定感を高めさせる。 ⑦校舎内外の環境美化に積極的に取り組ませる。
3	進路支援	目標	①教育活動全体を通して、計画的で組織的な進路指導を進める。 ②自己の能力・適性を発見し、伸ばしていけるように指導・援助する。 ③自らの在り方・生き方を考えて、主体的に進路を選択できるよう指導・援助する。また、進路実現のための学力を身につけさせる。 ④保護者と連携して共通理解しながら、有効な進路指導を進める。
	重点3① 重点3⑤	計画	① 「高校の学習への円滑な移行」「自主的な学習習慣の確立」「決定までの過程を大切にされた進路指導」など、各学年に応じた目標を立てて指導にあたり、より良い進路選択ができる力を育てる。 ②国語、数学、英語を中心とした基礎学力の充実を図る。 ③小論文指導を充実させ、考える力、表現する力などの伸長を図る。 ④新聞やTVのニュースを見ることによって社会常識、一般常識を身につけさせる。 ⑤ 外部模試や検定試験に向けた学習を通して、個々の学力を向上させる。

項 目		目 標・方 針 及 び 計 画	
4	特別活動	目 標	<ul style="list-style-type: none"> ①誠実で実践力のある人間形成を目指す。 ②豊かで充実した学校生活を通して、自主性や協調性など、社会人として必要な資質を育てる。 ③読書を通して、基礎的な学力としての国語力を育成する。また、豊かな情操を育み人間形成を図る。 ④読書を通して、自らの将来や進路について考えさせる。
	<p>重点4②</p> <p>重点4⑤</p>	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ①学校行事の内容や運営方法を工夫して、教育的効果をあげる。 ②生徒の自主的・自発的な企画・運営を大切にして、満足度調査を実施しながら、ホームルーム・生徒会・部活動の活性化を進める。 ③リーダー研修会などを通して、学校のリーダーを育成する。 ④部活動の改革が軌道に乗るように顧問同士の共通理解を図る。 ⑤朝読書などで読書への意欲・関心を高め、読書習慣の定着を図る。 ⑥図書館の運営の仕方を工夫し、委員会行事(弁論大会など)を充実させる。
5	その他（地域・家庭との連携、生徒寮）	目 標	<ul style="list-style-type: none"> ①家庭や地域との連携、及び本校の教育活動の理解を深めてもらうため、地域や保護者をはじめ、県内外に対してより多くの情報を発信する。 ②郷土の自然や文化に触れる機会と、地域行事等への積極的な参加を促すとともに、広い視野を持った社会に貢献できる人間を育成する。
	<p>重点5②</p>	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ①保護者や地域の方々との連携をさらに深めるために、PTA活動や学年別懇談会等の持ち方を工夫する。 ②各種「たより」を含め、学校の様子をHPでも発信し、家庭や地域の方々に本校の教育活動への理解をより深めてもらう。 ③地域に根ざした行事や文化に触れる機会を維持しつつ、積極的に地域の活動へ参加させる。 ④授業や学校行事、特別活動等では、地域の方々から継続的な協力を仰ぎ、地域の方々と触れ合う機会を通して生徒の見聞を広めさせる。
	生徒寮生活	目 標	<ul style="list-style-type: none"> ①家庭と連携しながら自律心や公共心を育み、社会常識やマナーを身につけさせる。 ②共同生活を通して連帯感の重要性を理解させ、自他共栄の精神を備えながら学習や活動の充実を図る。
	<p>重点5②</p>	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ①学期ごとに舎監会議を開き、職員間で情報を共有するとともに、寮生会議や必要に応じて生徒寮運営委員会を開催し、より良い寮生活の運営を目指す。 ②学習時間を集中して取り組むための工夫を模索させ、実行する。 ③明文化されていない寮の規則やルールを明確にさせるとともに、自らを律する生活が送れるようにする。